



# 特別活動を核として商業科及び各教科・科目で 取り組む8つの資質・能力の育成

～『津商モール(大規模販売実習)』を柱にキャリア教育を実践する～

岡山県立津山商業高等学校

教頭 福岡 明広

進路指導主事 野島 慎吾

## 1 はじめに

本校は岡山県北部の津山市にある商業単科の学校である。令和3年度(2021年)に創立100周年を迎える学校のため、多くの卒業生が県内外で活躍しており、地域社会とのつながりが深く、学校に対する期待も高い。

かつては全校で約1,000人が在籍していたが、徐々に定員が減り、平成29年度から全校で480名(各学年4クラス)の小規模校となっている。

本校の使命は、岡山県北部唯一の商業科専門高校として、知・徳・体の調和のとれた、心身ともに健全な人物を育てるとともに、時代や地域の要請に応えることのできる有為な人物の育成を目指すことである。

## 2 取組概要

人工知能(AI)、ビッグデータ、Internet of Things(IoT)、ロボティクス等の先端技術が高度化してあらゆる産業や社会生活に取り入れられたSociety5.0時代が到来しつつあり、社会の在り方そのものが現在とは「非連続」と言えるほど劇的に変わるとされている。このような中、高等学校においては職業決定や人生の選択などが求められ、主体的に課題に向き合い、多様な他者と関わり合い、社会的・職業的に自律した人間となるように基礎的・汎用的能力の育成がますます重要な時代となっている。とりわけ地域産業を担う人材を育成する本校への期待は大きく、ビジネスを通じた多様な学びと実践を通して、生徒がその資質・能力を身に付けるキャリア教育が必須と考えている。

平成21年度には、リーマンショック以降急速な景気後退に陥った地域経済の状況下から、本校

の価値を見直す取組として、地域の企業から求められる知識・技術や起業家精神教育などを学習し、地域の経済活性化に寄与するビジネスリーダーを育成する目的で「津商モール(大規模販売実習)」を始めた。この取組は、地域企業及び住民とのより深い連携を図ることができる学習活動となり、言わばキャリア教育の場である。

平成27年度には「津商モール」を学校行事に位置付け、この取組を中核として、特別活動の全体計画を見直し、学習活動の系統的な取組と生徒に身に付けさせたい資質・能力をベースにして指導手法や評価方法を改善することとした。

具体的には、キャリア教育の視点から身に付けさせたい資質・能力を示し、学校行事やホームルーム活動、生徒会活動において、学習の見通しや振り返りの活動を取り入れたり、実社会・実生活との関わりを踏まえたりすることを重視し、カリキュラム・マネジメントの視点から各教科・科目等と特別活動との往還を明確にしたいと図1のように考えた。



図1 津商モールを軸に考えたPDCAサイクル

また、この取組では、生徒に身に付けさせたい資質・能力の育成に向け、全ての教育活動が関連性を持ち、生徒自身が成長を実感でき、教員が生

徒の変容を見取ることができる PDCA サイクルの確立を目指した。

そんな折、平成 28 年から令和元年度に国立教育政策研究所教育課程センター関係指定事業を受け、研究の機会を得た。平成 30 年・令和元年度には、研究主題を「商業高校における特別活動と各教科の学びの往還による『身に付けさせたい資質・能力』の更なる成長の検証」とし、次のような視点を持ち具体的な研究活動を試みている。

(ア) 商業高校における特別活動及び各教科・科目等において、発達段階に応じた「身に付けさせたい資質・能力」の構造化と更なる重点化・焦点化

平成 28・29 年度の研究で身に付けさせたい「資質・能力」を 7 つに整理したが、図 2 のように知識を活用して解決する 5 つの力 (①情報収集力, ②情報分析力, ③課題発見力, ④構想力, ⑤実行力) と、人と自分にベストな関係をもたせようとする 3 つの力 (⑥チームで働く力, ⑦前に踏み出す力, ⑧考え抜く力) に再整理した。

	情報収集力 ①	情報分析力 ②	課題発見力 ③	構想力 ④	実行力 ⑤		
新	チームで働く力 ⑥		前に踏み出す力 ⑦		考え抜く力 ⑧		
	⑦						
旧	状況把握力 ①	問題発見力 ②	アイデア力 ③	チャレンジ力 ④	企画立案力 ⑤	チームワーク力 ⑥	コミュニケーション・プレゼンテーション ⑦
	・課題を把握し、必要な情報を収集できること。	・問題を発見し、物事を観察すること。	・新しい視点で、物事を発想すること。	・新しい視点で、物事を発想すること。	・目的意識を持って、計画を立てること。	・チーム内の役割を分担し、その役割を果たすこと。	・相手の意見を聞き、正しく理解すること。
	・場面に合わせて、自分の責務を適切に担うことができること。	・解決すべき課題を見つかること。	・自分たちの取組を、他者に説明できるように工夫できること。	・自分たちの取組を、他者に説明できるように工夫できること。	・目的意識を持って、進捗状況を把握できること。	・チーム内で同じ役割の人と協力し、その役割を推進できること。	・自分の考えを、相手にわかるように説明すること。

図 2 本校で育てたい 8 つの資質・能力

(イ) 評価方法の工夫と改善 (ルーブリック評価)

津商モールを柱にしたキャリア教育において、評価における数値判断が難しく、何を根拠をもって、教員が示す力が身に付いたと判断できるのかがわかりにくい場面があった。そのため、特別活動毎に育成するべく資質・能力を決定し、表を用いて、行動観察から達成度を測定するルーブリック評価を試みた。

ルーブリックは、評価基準を四段階 (レベル 1~4) に設定し、図 3 のように作成した。

**活動毎での評価項目**  
(重点化して身に付けさせたい資質・能力)

**リフレクションシート(事後)**

行事・活動名	資 業 祭	あなたの役割・立場
1 この活動を通して「 <b>チームワーク力</b> 」【 <b>実行力</b> 】を身に付けよう!		
身に付ける力	身に付ける力は主に以下のようなことを指しています。	
<b>チームワーク力</b>	①メンバーの立場や期待を認め合い、コミュニケーションを取りながら互いに連携して活動できる。 ②クラス全体の活動がより良くなるよう、自分の役割を果たし、クラスに貢献できる。 ③他者の相談や助言ができた。不足することも助け合った。働きかけができる。	
<b>実行力</b>	①しっかり計画を立てて、実行することができる。 ②状況に応じて柔軟に計画を修正することができる。 ③行動を振り返って検証し、次の行動の改善に結びつけることができる。	

	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	評
①	・メンバーの立場や期待を認め合い、ほめる・励ますだけでなく、意見を聞き内容がよくなるよう働きかけをする等、互いに連携して取組めた。	・メンバーの立場や期待を認め合い、ほめる・励ますなど互いに連携して取組めた。	・リーダーの指示に従って活動することができた。	・リーダーの指示に従って活動することができなかったこともあった。	

**評価レベル (身に付けさせたい資質・能力)**

図 3 活動毎の評価項目と評価基準

(ウ) 3 年間を通した生徒一人一人の変容を全教員が共有できる方法の工夫改善 (キャリアノート)

津商モールを柱にしたキャリア教育を達成するために、各学年がスタートする時には、特別活動、各教科・科目の身に付けさせたい資質・能力を意識した年間指導計画を作成することとした。また、特別活動・学年団等の学習活動における目標シート・振り返りシートやワークシート等、行事ごとの記録を「進路ファイル」に蓄積し、活動での学びの振り返りや次回への改善につなげる工夫をしていくことにした。

しかし、これまでの「進路ファイル」では、生徒個人によって蓄積する内容が違うことや、単に「蓄積」だけで終わっている現状があった。津商モールを柱にしたキャリア教育をより効果的な学びの記録にするためには、自分の成長を振り返ることができ、将来へつなげる資料とできることや特にホームルーム活動を有効活用することを視点に置き、どのような内容を記録すればよいのか、どのように整理すればいいのを先進校の実践を参考に検討 (図 4) し、改善を図った。また、「進路ファイル」改め「キャリアノート」とした。

(エ) 3 年間の生徒自らの成長を振り返ることができるキャリアノートへの工夫と改善 (リフレクションシート)

ホームルーム活動、特別活動、津商モールへと



図4 進路ファイルの見直し：キャリアノートへの第一歩  
螺旋状にキャリア教育を考えるとホームルーム活動の指導案も重要となる。そこで、単なる記録・蓄積で終わらせず、必ず振り返りに活用できるホームルーム活動の指導案をつくり、指導案に沿ったリフレクションシート(図5・6)の作成を行った。

ホームルーム活動では自分の成長を実感できる振り返りを導入とすること、活動場面には他者の意見から自分では気が付かなかった部分の成長がわかる工夫を入れることとし、最後は今後の特別活動や将来に向けた見通しを持つことができる、指導の流れをつくった。リフレクションシートで

岡山県立津山商業高等学校 学習指導案 (2・3学年)																	
日時	令和元年7月4日(木) 第3校時																
教科・科目	特別活動「音楽祭LHR」																
教室	HR教室 指導者 担任・副担任																
題材(単元)	音楽祭																
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○クラスの話し合いと協働によって、企画・準備・練習を行うことで「アイデア力」の育成を図る。</li> <li>○企画準備した内容をクラス全員で共有し、練習を行い「発案」につなげることで「チームワーク力」の育成を図る。</li> <li>○外部施設を使用することにより社会生活に必要な公共心を身につける。</li> </ul>																
内容	音楽祭を行うにあたって、担任としてどのような願いをもって、生徒それぞれの力を育てていくか考え取り組む。実行力、チームワーク力それぞれから目標を定めてよいし、まとめた目標を定めてよいし、生徒一人ひとりが主体的に行事に取組めるように、目標を定めて活動を行う支援を行います。これ以後の音楽祭の活動に向けて、各クラスの目標を含めて意識して活動する場を設定してください。																
津商の授業3	<p><b>本時のねらい</b> (生徒に提示する本時の目標)</p> <p><b>クラス全員で取組める目標を作ることができる(実行力、チームワーク力にかかわる目標づくり)</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>生徒の学習活動</th> <th>教師側の支援</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 本時の目標を確認する (3分)</td> <td>1. 目標を板書し、ループリックを示しながら、今年は自分たちで目標を設定して取り組むことを説明する。</td> </tr> <tr> <td>2. 個人で音楽祭が「こうなったらいいな」と思うことを書き出させる。付箋紙等に3つ以上記入する。 (5分)</td> <td>(K)法を利用する</td> </tr> <tr> <td>3. 4人程度のグループを作り、考えを出し合い、目標としてふさわしいものを3種類選び、書き出す。 (5分)</td> <td>2. 付箋紙、A3紙などを準備する</td> </tr> <tr> <td>4. グループごとに発表する。 (15分)</td> <td>3. グループの役割を決めて、司会が進行するように指示する。</td> </tr> <tr> <td>5. クラスとして、全員が取組むことのできる目標を適当数選ぶ。 (15分)</td> <td>4. 発表したものは、全員が見ることができるようにして残す。</td> </tr> <tr> <td>6. クラス全員で目標を確認する。 (2分)</td> <td>5. 各グループの考えのまとまりを作りながら生徒の考えの集約を助けける。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6. 自分たち全員がめざす目標であることを促す。</td> </tr> </tbody> </table>	生徒の学習活動	教師側の支援	1. 本時の目標を確認する (3分)	1. 目標を板書し、ループリックを示しながら、今年は自分たちで目標を設定して取り組むことを説明する。	2. 個人で音楽祭が「こうなったらいいな」と思うことを書き出させる。付箋紙等に3つ以上記入する。 (5分)	(K)法を利用する	3. 4人程度のグループを作り、考えを出し合い、目標としてふさわしいものを3種類選び、書き出す。 (5分)	2. 付箋紙、A3紙などを準備する	4. グループごとに発表する。 (15分)	3. グループの役割を決めて、司会が進行するように指示する。	5. クラスとして、全員が取組むことのできる目標を適当数選ぶ。 (15分)	4. 発表したものは、全員が見ることができるようにして残す。	6. クラス全員で目標を確認する。 (2分)	5. 各グループの考えのまとまりを作りながら生徒の考えの集約を助けける。		6. 自分たち全員がめざす目標であることを促す。
	生徒の学習活動	教師側の支援															
	1. 本時の目標を確認する (3分)	1. 目標を板書し、ループリックを示しながら、今年は自分たちで目標を設定して取り組むことを説明する。															
	2. 個人で音楽祭が「こうなったらいいな」と思うことを書き出させる。付箋紙等に3つ以上記入する。 (5分)	(K)法を利用する															
	3. 4人程度のグループを作り、考えを出し合い、目標としてふさわしいものを3種類選び、書き出す。 (5分)	2. 付箋紙、A3紙などを準備する															
	4. グループごとに発表する。 (15分)	3. グループの役割を決めて、司会が進行するように指示する。															
	5. クラスとして、全員が取組むことのできる目標を適当数選ぶ。 (15分)	4. 発表したものは、全員が見ることができるようにして残す。															
6. クラス全員で目標を確認する。 (2分)	5. 各グループの考えのまとまりを作りながら生徒の考えの集約を助けける。																
	6. 自分たち全員がめざす目標であることを促す。																
	本時の振り返り																
	7. リフレクションシートに目標決定までの自分の活動について振り返る。目標を達成するために必要な活動を記入する。(2のところへ) (5分)																

図5 特別活動「音楽祭LHR」での指導案とリフレクションシート

の工夫点は、自己評価だけでなく“他者評価”や“見通し”を取り入れたことである。

### ① 【個人活動：自己評価】

これまでに実施した特別活動でのループリック評価を用いたり、過去の活動の中で心の変化を綴ったキャリアノートを見返すなどしたりして数値と文字による振り返りをする。

### ② 【グループ活動：他者評価】

4人のグループとなり、行った振り返りについてクラスメイトに振り返った内容を説明する。説明を聞いたクラスメイトは説明をした者に対し、活動の中で、活躍しているように見えたり、成長したように見えたりした部分を伝える。本人は気がついていないような部分についてもできるだけ言及する。

### ③ 【個人活動：見通し】

次の活動に向けてやり遂げたいと思えることを見つけて決意表明させ、次の活動につながるようにする。

このように三つの要素(自己評価・他者評価・見通し)について必ず振り返ることとし、それぞれの場面で何を考えさせるのかをホームルーム活動の学習指導案で示すこととしている。

#### リフレクションシート (事前・活動中)

行事・活動名	音楽祭	年	組	番	氏名
1. この活動を通して「 <b>チームワーク力</b> 」「 <b>実行力</b> 」を身に付けよう!					
身に付ける方					
身に付ける方とは主に以下のようなことを指しています。					
<b>クラス目標</b>					
<b>チームワーク力</b>	①メンバーの立場や気持ちの認め合い、コミュニケーションを取りながら互いに連携して活動できる。 ②クラス全体の活動がより良くなるよう、自分の役割を果たし、クラスに貢献できる。 ③他者の困難や助言ができた時、不足することを助け合うなど、働きかけができる。				
<b>実行力</b>	④しっかりと計画を立てて、実行することができる。 ⑤状況に応じて柔軟に行動を修正することができる。 ⑥行動を振り返って検証し、次の行動の改善につなげることができる。				
2. この活動での私の役割・立場は					
<input type="text"/>					
その中で私は、					
<input type="text"/>					
★この欄には、○を大欄にしたい、○に挑戦したい、○を身に付けたいなどを書きましょう。					
3. 活動の振り返り					
日付	目標	作業したこと、内容、感想などを具体的に書こう。			
7/5 (金)					
7/8 (月)					
7/9 (火)					
7/10 (水)					
7/11 (木)					

(オ) 特別活動と各教科・科目の関連性及び教科・科目間の関連性の検証と実践（カリキュラム・マネジメント）

学力向上委員会や職員会議を活用し、カリキュラム・マネジメントの事例を紹介することから始め、その際には、特別活動との関連を目的とした授業展開の工夫ができるように、三人一組の教員でチームを組み、全体への公開授業の実施と、チーム内でお互いの授業を評価し合う取組とした。

3 取組の成果と反省点について

- 関係者が集まって議論を重ねるうちに、身に付けさせたい「資質・能力」の意識統一ができるようになった。
- パフォーマンス評価を取入れることとして、生徒にとってはより具体的な活動の振り返りができるようになったとともに、教員が何に留意してホームルーム活動を行うかを強く意識することができた。
- キャリアノートへの活用について、1年生から

3年生まで蓄積物の多少はあるが、当時の振り返りを見直す機会を設定したことにより、目に見えない部分の成長を実感させることができた。

- ホームルーム活動において、導入→自己の振り返り→相互評価→今後の見通しといった一連の流れを作ることができた。
- 次の行事での活躍や進級した後の自分、卒業した後の自分を語ることができる生徒が増えた。その際、教員が設定した「資質・能力」の言葉どおりではないが、自分に不足している力や伸ばしたい力を言語化して語るができるようになった。
- 教務室内での会話の中に、教科・科目を超えてお互いの授業内容を確認し合う場面が増えた。以上のような生徒の変容を得たが、次のような課題もある。身に付けさせたい「資質・能力」を重点化・焦点化するために、どの活動場面でも必要な力を見直すことや、生徒に説明する際に具体的なシーンを想定しにくい部

1年、2年、3年、4年、5年、6年、7年、8年、9年、10年、11年、12年

リフレクションシート(事後)

行事・活動名	津商モールド	あなたの役割・立場			
1 活動を通し「 <b>課題発見力</b> 」「 <b>チームで働く力・実行力</b> 」を身に付けるよう取り組んできました!					
身に付けた力					
課題発見力	① それぞれの役割・立場において「お客様の満足」という目標の達成に向け、現在の課題点を考えることができる。 ② 目標の達成に向けた、最適なプラン・提案を考えることができる。 ③ 班員の立場や気持ち思いやり、共感して受け止めることができる。 ④ 役割内で、周囲に気を配り、役割を理解して互いに連携して進行できる。 ⑤ 各役割の中でコミュニケーションをあげ、よりよい雰囲気作りができる。 ⑥ 他者の相対的立場や意見が、否定を向け合うなど、働きかけることができる。 ⑦ しっかりと計画を立てて、実行に近づけようとする努力ができる。 ⑧ 状況に応じて、柔軟に行動を修正することができる。 ⑨ 行動を振り返り、次の行動の改善に結びつけることができる。				
チームで働く力 実行力					
2 自己評価してみよう! ★「評価」欄に、該当するとと思われるレベル数を記入する。					
◆課題発見力					
	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	評価
①	・お客様(中学生を含む)が満足していただけるよう、準備の時から、そのつど、問題ないかどうかチェックし、それに基づいて行動できた。	・お客様(中学生を含む)が満足していただけるよう、準備の時から、そのつど、問題ないかどうかチェックした。	・お客様(中学生を含む)が満足していただけるよう、当日のみで対応していた。	・お客様(中学生を含む)の満足をあまり意識しなかった。	
②	・お客様が満足していただけでなく、準備の段階から、いろいろなアイデア・プランを考え、グループに伝えることができた。	・お客様が満足していただけでなく、準備の段階から、いろいろなアイデア・プランを考え、グループに伝えた。	・お客様が満足していただけでなく、当日のみで対応していた。	・お客様の満足につながることがなかった。	
③・④について、具体的にどんなことができましたか?					
◆チームで働く力・実行力					
	レベル3	レベル2	レベル1	評価	
③	・言わなくても、グループのメンバーの気持ちを察して取り、他のメンバーのよい提案やアイデアを尊重することができた。	・他のメンバーのよい提案やアイデアを聞くことができた。	・他のメンバーの意見に対して、聞く耳をもつことができなかった。		
④	・自分の役割と、他のメンバーの役割の両面性を考えながら、一緒に仕事に取り組むことができた。	・一緒に仕事に取り組むことができたが、他のメンバーの役割をあまり意識しなかった。	・自分の役割のみに着目して仕事に取り組むことが多かった。		
⑤	・グループ内での自分の役割を理解し、メンバーの意見・考え方を高められるよう声かけなど行動に移した。	・メンバーの意見・考え方を高められるよう声かけなど行動に移した。	・メンバーの意見・考え方を高められるよう努力がなかった。		

図6 特別活動「津商モールド」のリフレクションシート

⑥	・他のメンバーの振りこなどを頼りて声をかけたり、グループ全体で活動できるように発言することができた。	・他のメンバーからの振りこなど頼りたが、グループ全体で活動できるように発言することができなかった。	・他のメンバーからの振りこなど頼りたが、発言や行動に誘導することがなかった。	・他のメンバーからの振りこなど頼りたが、発言や行動に誘導することがなかった。
⑦	・業務の打ち合わせから、自分がどのように活動すればよいか、計画を立て、それを実行することができた。	・業務の打ち合わせから、自分がどのように活動すればよいか、計画を立て、それを実行することができなかった。	・業務の打ち合わせから、自分がどのように活動すればよいか、計画を立て、それを実行することができなかった。	・業務の打ち合わせから、自分がどのように活動すればよいか、計画を立て、それを実行することができなかった。
⑧	・変化する場合にあわせて、活動がよくなるように、自分だけで行動を修正して実行できた。	・変化する場合にあわせて、活動がよくなるように、自分だけで行動を修正して実行できなかった。	・変化する場合にあわせて、活動がよくなるように、自分だけで行動を修正して実行できなかった。	・変化する場合にあわせて、活動がよくなるように、自分だけで行動を修正して実行できなかった。
⑨	・自分の活動状況を客観的に考えて、問題点を発見し、それを考えようとする努力ができた。	・自分の活動状況を客観的に考えて、問題点を発見し、それを考えようとする努力がなかった。	・自分の活動状況を客観的に考えて、問題点を発見し、それを考えようとする努力がなかった。	・自分の活動状況を客観的に考えて、問題点を発見し、それを考えようとする努力がなかった。
③~⑨について、具体的にどんなことができましたか?				

3 もし津商モールド・キッズビジネスタウンが2日間開催だったとしたら、よりよくなるために、翌日、あなたの活動の『例』を、「どのように」変えたいと思いますか?  
活動をふりかえって、改善すべき点を1つだけ挙げてみましょう。

『 』を 『 』と、より良くなる

4 全体の活動を終えて、グループやペアで話し合い、お互いの活動の様子を評価してみましょう。  
例「〇〇さんの××なところがよかった」と、言われたことをメモしよう!

5 他の人からのメッセージを受けて……。

★この欄は、この活動を経験して、身に付いたこと、成長したと実感すること、爽快感のこと、大切なと思うこと、これらが今後のために、チャレンジしたいこと、役目を書きましよう。  
★「来年度に向けて」という視点で書きましよう。

分を整理・統合することを目指した。しかし、新たに必要とする力などの意見が出るなどして、重点化・焦点化するどころか拡大してしまい、整理・統合は叶うことがなかった。

- ホームルーム活動の時間を適切に設定できない場面もあつたり、行事の準備期間により行事の振り返りと準備期間が重複する場面があつたりするなど、生徒における気持ちの切り替えが十分でない場面が見受けられた。
- 特別活動や教科・科目間のつながりを意識した授業の実践例年々増えてきたが、本校の三つの柱の特別活動以外を意識し、教科・科目のつながりを意識した授業展開の数が少ない。

#### 4 その後の取組

本校での、これまでの取組により、特別活動とりわけ学校行事に対して前向きに取り組む生徒が増えてきたと感じられる。特別活動において高める力を提示したが、これらの力を進路決定やキャリア形成につなげるという観点から生徒の活動として表現すると次のようになる。

##### ① 主体的に取り組む力

進路決定を自分自身のこととして捉え、自ら積極的に動く

##### ② 課題発見力・構想力

進路に関する課題を設定し、将来を見据えた構想を練る

##### ③ 情報収集力・分析力

②を踏まえて積極的に情報収集を行い、必要に応じて比較・分析する。

##### ④ 実力力

自分が設定した目標に向けて努力する

##### ⑤ チームで働く力

受験は団体戦、得意分野・不得意分野の相互補完これらで高めた力は、その後の進路決定やキャリア形成にも有意な影響を与えている。

例えば、就職においては、「私は、学校行事の販売実習で店長を務めた際、お客様のことを第一に考えて売場設計や接客をすることで、それが結果となり喜んでもらった時にやりがいを感じ、販売職に就きたいと考えるようになりました。」と

いった志望の動機により販売職へ就いた生徒がいる。また、進学においては、「私は、津商モールで社長を務めたことがきっかけで、行事を成功させるにはチームで働くことが必要であることを学びました。また、地域の方が協力してくださるありがたさを、身をもって体験し、将来は津山市の活性化に貢献したいと考えるようになりました。」といった志望の動機により国公立大学社会科学系への進学を実現させている。

卒業時には膨大な量となるキャリアノートによる日々の学びの蓄積は、生徒のキャリア形成につながる大きな財産になっていることは間違いない。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、多くの学校行事が中止・縮小されて丸2年が経過しようとしている。このような限られた環境下で何ができるのかを考え学校行事の実施に結び付けようと生徒が前向きに考えた結果、今年度は、学校行事における新たな挑戦が多く生まれることとなった。昨年度から大学入試改革が行われ、選抜方法にかかわらず、総合的な力を問われるケースが多くなっている中、生徒自身が考え、悩み抜いた末に学校行事を成功に導いた経験はまさに総合力の向上と言えるであろう。

本校で活用してきた「キャリアノート」は、令和2年度から全国で実施されることとなった「キャリアパスポート」の活用によるその役割を引き継ぐこととなっている。しかしながら、令和3年度の学校自己評価で、生徒・保護者・教員の三者に共通して「キャリアパスポートの活用」について低い評価となり、改善の余地がある。

学校運営協議会（令和3年度から導入し委員に小・中学校の職員含）において「持続可能な教育活動」を主題に協議する中、次のような声もある。

- キャリアパスポートは、保護者（大人）と生徒（子ども）の「対話」を生み出すツールにもなりうる。

- キャリアパスポートの確立のために、中学校から引き継いだものを元に内容のカスタマイズが必要。また、他者評価の対象に外部・保護者からの意見も入る部分を設定してはどうか。

- テスト結果等も自分でグラフに書かせ、以後の目標設定に使うのはどうか。1枚で示せるものが見やすい。

単なる学びの蓄積で終わることなく、3年間どのような力を身につけて卒業し社会で活躍するかを見据えた際に力を発揮するツール(図7)として、改善し続けながら活用していく必要があると考えている。

キャリア教育には3つの視点があると考える。

- ・ 系統立てた学校での教育
- ・ 体験から学ぶ教育
- ・ 親や身近な人から学ぶ教育

ほどよく織り交ぜながら自分のキャリア形成について考える機会を多く設け、自分自身と真剣に向き合うことが成長につながることを意識しながら日々の学習や学校行事に取り組める生徒の育成につなげていきたい。

## 5 おわりに

平成 28 年の中央教育審議会答申で、特別活動は、実生活の課題を解決するために、互いのよさ

や可能性を発揮できるような様々な集団活動を通して、各教科等における学びを実際の場面で総合的に活用して実践する時間であるとともに、特別活動の学びが各教科等の学習を行う上での土台となるといった各教科等と往還的な関係にあると強調している。

また、学習指導要領では、生徒が学ぶことと自分の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要としつつ各教科・科目等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ることを明示している。

本校は、基礎的・汎用的能力に照らして身に付けさせたい資質・能力を8つに整理・明確化し、教科・科目での学びを特別活動でまとめ、紡ぎ、特別活動での学びを教科・科目の土台となるように意図的に仕掛け、特別活動を要にして学校教育全体で取り組むキャリア教育の実践例として参考になれば幸いです。

キャリアパスポート(案) (課題等あり)

※3年間を見通して、自己成長につなげるために5つの観点から目標を設定しよう!

目標設定し、月 日	1学期の振り返り(月 日)	2学期の振り返り(月 日)	3学期の振り返り(月 日)
【主体的に取り組む力】自分自身のこととして捉え、自ら積極的に動く 【目標達成のための振り返り】 ①目標達成度 ②④③②① ③良かった点・成長した点 ④反省点・改善点 ⑤目標の見直し(①-④を踏まえて)	【主体的に取り組む力】 【目標達成のための振り返り】 ①目標達成度 ②④③②① ③良かった点・成長した点 ④反省点・改善点 ⑤目標の見直し(①-④を踏まえて)	【主体的に取り組む力】 【目標達成のための振り返り】 ①目標達成度 ②④③②① ③良かった点・成長した点 ④反省点・改善点 ⑤目標の見直し(①-④を踏まえて)	【主体的に取り組む力】 【目標達成のための振り返り】 ①目標達成度 ②④③②① ③良かった点・成長した点 ④反省点・改善点 ⑤目標の見直し(①-④を踏まえて)
【情報収集力・整理力】課題を設定し、先を見通して整理を続ける 【目標達成のための振り返り】 ①目標達成度 ②④③②① ③良かった点・成長した点 ④反省点・改善点 ⑤目標の見直し(①-④を踏まえて)	【情報収集力・整理力】 【目標達成のための振り返り】 ①目標達成度 ②④③②① ③良かった点・成長した点 ④反省点・改善点 ⑤目標の見直し(①-④を踏まえて)	【情報収集力・整理力】 【目標達成のための振り返り】 ①目標達成度 ②④③②① ③良かった点・成長した点 ④反省点・改善点 ⑤目標の見直し(①-④を踏まえて)	【情報収集力・整理力】 【目標達成のための振り返り】 ①目標達成度 ②④③②① ③良かった点・成長した点 ④反省点・改善点 ⑤目標の見直し(①-④を踏まえて)
【情報収集力・分析力】課題解決のため積極的に情報収集を行い、比較・分析する 【目標達成のための振り返り】 ①目標達成度 ②④③②① ③良かった点・成長した点 ④反省点・改善点 ⑤目標の見直し(①-④を踏まえて)	【情報収集力・分析力】 【目標達成のための振り返り】 ①目標達成度 ②④③②① ③良かった点・成長した点 ④反省点・改善点 ⑤目標の見直し(①-④を踏まえて)	【情報収集力・分析力】 【目標達成のための振り返り】 ①目標達成度 ②④③②① ③良かった点・成長した点 ④反省点・改善点 ⑤目標の見直し(①-④を踏まえて)	【情報収集力・分析力】 【目標達成のための振り返り】 ①目標達成度 ②④③②① ③良かった点・成長した点 ④反省点・改善点 ⑤目標の見直し(①-④を踏まえて)
【実行力】自分が設定した課題の実践に向けて努力する 【目標達成のための振り返り】 ①目標達成度 ②④③②① ③良かった点・成長した点 ④反省点・改善点 ⑤目標の見直し(①-④を踏まえて)	【実行力】 【目標達成のための振り返り】 ①目標達成度 ②④③②① ③良かった点・成長した点 ④反省点・改善点 ⑤目標の見直し(①-④を踏まえて)	【実行力】 【目標達成のための振り返り】 ①目標達成度 ②④③②① ③良かった点・成長した点 ④反省点・改善点 ⑤目標の見直し(①-④を踏まえて)	【実行力】 【目標達成のための振り返り】 ①目標達成度 ②④③②① ③良かった点・成長した点 ④反省点・改善点 ⑤目標の見直し(①-④を踏まえて)
【チームで働く力】異質な人間関係を築き、協力的に仕事を進める 【目標達成のための振り返り】 ①目標達成度 ②④③②① ③良かった点・成長した点 ④反省点・改善点 ⑤目標の見直し(①-④を踏まえて)	【チームで働く力】 【目標達成のための振り返り】 ①目標達成度 ②④③②① ③良かった点・成長した点 ④反省点・改善点 ⑤目標の見直し(①-④を踏まえて)	【チームで働く力】 【目標達成のための振り返り】 ①目標達成度 ②④③②① ③良かった点・成長した点 ④反省点・改善点 ⑤目標の見直し(①-④を踏まえて)	【チームで働く力】 【目標達成のための振り返り】 ①目標達成度 ②④③②① ③良かった点・成長した点 ④反省点・改善点 ⑤目標の見直し(①-④を踏まえて)

図7 キャリアパスポートを見据えたリフレクションシートへ改善(案)

※A3サイズで一年間の資質・能力の変容が一読できるよう工夫した。